

News Release

2023年10月19日

株式会社 JERA

日揮ホールディングス株式会社

JERA、日揮 HD、インドネシア国営電力会社 PLN の 3 社による火力発電所における CCS 事業に関する共同調査の開始について

株式会社 JERA（以下、「JERA」）、日揮ホールディングス株式会社（以下、「日揮 HD」）およびインドネシア国営電力会社（以下、「PLN」）は、インドネシア共和国（以下「インドネシア」）において PLN の子会社が保有する火力発電所を対象とした CCS*の導入および事業化に向けた共同調査を開始することとし、9月26日に、覚書を締結しました。

インドネシア政府は、2060年までにカーボンニュートラルを達成する目標を掲げており、同国の CO₂ 排出量全体の約 4 割を占める電力セクターの脱炭素化は、重要な課題になっています。

本覚書は、PLN の子会社が保有するインDRAMユ石炭火力発電所およびタンバロロックガス火力発電所への CCS の導入を検討し、技術的な課題や事業性の評価、法規制等について調査および課題抽出を行うことにより、CCS 事業としての実施可能性を評価することを定めたものです。

本調査において、JERA は総括的な役割を担い、CCS 事業に関する市場調査、事業性の評価、法制度の調査などを実施し、日揮 HD は CCS の貯留技術の検討やコストの検証を実施します。また、PLN は CCS 導入の検討対象となる発電所のデータ提供や現地関係機関との調整を実施します。

なお、本調査は経済産業省による令和 5 年度「質の高いエネルギーインフラの海外展開に向けた事業実施可能性調査事業費補助金（我が国企業によるインフラの海外展開促進調査事業）」に採択され、同事業による補助を受けて実施するものです。

[\(2023年8月2日経済産業省プレスリリース\)](#)

JERA は、インドネシアにおける電力セクターの脱炭素ロードマップ策定に向けた調査・支援を実施し、同国のエネルギートランジション支援に取り組んでまいりました

[\(2021年11月25日プレスリリース\)](#)。JERA は、世界のエネルギー問題に最先端のソリューションを提供するグローバル企業として、再生可能エネルギーと低炭素火力を組み合わせたクリーンエネルギー供給基盤を提供することで、インドネシアをはじめ、ベトナム、フ

イリピン、バングラデシュ、タイ等のアジアを中心とした世界の健全な成長と発展に貢献してまいります。

日揮グループは、インドネシア、マレーシア、タイ等の東南アジア諸国において **CCS** の事業化に向けて取り組んでいます。また、**CCS** 設備の豊富な建設実績をもとに、中期経営計画「**BSP2025**」において **CCS** を含めたエネルギートランジション分野の事業拡大を掲げており、幅広いソリューションの提供を通じて脱炭素社会の実現や資源循環の促進に貢献していきます。

PLN は、インドネシア国営の電力会社であり、インドネシア全体の安定した電力供給を確保するために重要な役割を果たしています。インドネシア政府は **2060** 年までにネットゼロエミッションの実現を宣言しており、**PLN** としてもネットゼロエミッションおよび低脱炭素燃料事業の強化を発表するなど、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

※Carbon dioxide Capture and Storage（二酸化炭素回収・貯留）の略称

以 上